

広報用実績のまとめ

令和 4 年度

団体名	まび創成の会（水害伝承の展示会・事務局）		
	代表者	黒瀬 正典	記載者 大熊正喜
所在地（市区町村名のみ）	倉敷市真備町		
活動目的	倉敷・真備を水害のない住みよいまちにするための活動(復興展示会の開催)		
団体の紹介	<p>まび創成の会は、平成30年西日本豪雨で甚大な被害を受けた倉敷市真備町のまちづくりのリーダーをはじめとした地域住民の参加する任意団体である。被災直後から、今回の水害の要因を歴史を遡って調査分析し、疎かにされていた水害常襲地としての歴史的な災害伝承と今回の7月豪雨災害の記憶や教訓の伝承を一体的に進めるために、災害伝承館の創設を行政に働きかけるとともに、広く市民に呼びかけ実行委員会を組織し、災害とそこからの復興の歩みを記録する「画像」や「資料」等を収集し、水害伝承の展示会を開催している。</p>		
助成を受けての活動内容	<p>今回の「水害伝承の展示会」は、まび創成の会が事務局となり、国・県・市も巻き込み、真備町内7地区のまちづくり推進協議会、商工会、農業団体、医療・福祉など様々な団体や個人に広く呼びかけ実行委員会を組織し、オール真備体制をつくり取り組んだ。災害と復興に関わる写真や資料を3000点以上をご提供いただき、うち約1000点を展示した。</p> <p>マルセン財団からの助成金も活用し、チラシ約2万枚・ポスター2000枚を印刷し、七地区まちづくり推進協議会の協力で真備地区内全戸に配布するとともに、ゴミステーション等へポスターを貼った。</p> <p>西日本豪雨被災まる四年という時期でもあり、地元のマスコミにも取り上げられ、7月1日から4日までの四日間、約1800人のご来場をいただき、大変大きな反響のもとに開催することができた。</p> <p>この展示会の成功を受け、集められたデジタル画像データの今後の利活用の検討や次の展示会へ向けた計画を、事務局を担ったまび</p>		
助成を受けての成果	<p>西日本豪雨被災まる四年という時期、倉敷市が実施した住民アンケートでも、9割以上の世帯が住宅の再建が完了したと回答した一方で、災害の記憶が薄れているように感じると答えた世帯が約8割に上った。この時期、生活が落ち着きを取り戻しつつあるからこそ、あのつらい経験を忘れてはならない、二度と犠牲者を出さないために後世へ伝えなければという思いを持たれる方が増え、そこへ「写真募集」の呼びかけが届いた。そして、住宅が濁流に飲み込まれる様子、たくさんの人が過ごした避難所、さらに、復興に進む町の様子まで、これまでマスコミに取り上げられることなく保存していたような写真が3000枚以上寄せられた。</p> <p>これは、今回の災害を伝承するにあたっての大きな「共有財産」となりうる。</p>		
今後の活動の課題点	<p>集められたデジタル画像データは今回の展示会での展示に限定して提供されたものだが、展示会後に他の地域や防災推進の団体から「貸出」のリクエストがあり、権利関係の処理を進めるとともに、膨大なデータをアーカイブとして整理保存し活用できる体制をつくっていくことが課題となっている。また、今回は「初回」ということで、4年前の被災当時の写真が展示の大きな比重を占めたが、今後はそこからの復興のプロセスを記録する画像や資料の収集もすすめ、次の展示会へ向けた準備を事務局を担ったまび創成の会で進めてかなければなら</p>		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	<p>水害伝承の展示会真備 Facebookページ https://www.facebook.com/denshomabi</p> <p>まび創成の会 Youtubeチャンネル https://m.youtube.com/channel/UCbGCQHyePNRpTYtvMxQJO2A/featured</p>		

水害伝承の展示会

倉敷市真備町 平成30年7月豪雨〔西日本豪雨〕

入場無料

令和4年 7月1日(金)～4日(月)

9:00～17:00 [最終日は12:00まで]

マービーふれあいセンター 展示室/アトリウムギャラリー
倉敷市真備町前田40-1 ☎086-696-9111

後世に
災害を語り継ぐ

写真展示、資料展示、映像展示
テーマ別展示、各団体展示
パサー、合唱・演劇会など

『伝承』の大切さ 事前防災の要です

あの水害を 後世に伝えていくための展示会

災害を忘れるために、語り継ぐために、今後の防災のために、関係機関ご協力のもと、住民みずからの手で開催することになりました。

平成30年7月豪雨による倉敷市真備町周辺浸水推定段彩図

展示写真募集

展示会にて写真展示コーナーを設けます。皆さまの写真・資料等を募集します。被災時の写真、避難時の写真、仮設住宅や仮住まいでの生活、再建の過程、その時々町の様子など、ございましたら提供いただけますと助かります。災害を伝承していくためには、皆さまの記録が必要です。その記録が重要な証書となってきます。ご協力いただけましたら助かります。よろしくお願いいたします。

写真データはこちら
6月15日まで denshomabi@gmail.com

※写真データとともに撮影日時・場所・状況などを載せてください。量が多い場合、Googleフォト(共有)、クラウドファイル等でも可。
※写真に写っている方のプライバシーに配慮ください。 ※ご提供いただいた写真は、展示手段を得られたものとみなします。
※SNSなどを基に紹介をさせていただくこともあります。 ※すべての写真を展示できない場合もあります。ご了承ください。

主催 水害伝承の展示会実行委員会

協賛 真備地区まちづくり推進協議会連絡会／真備船種商工会／まび創成の会、語り部ネットワークまび

協賛 岡山県備中県民局／倉敷市／山陽新聞／倉敷ケーブルテレビ／玉島テレビ／FMくらしき／井原鉄道／USAID／ピースウイングス／ジャパン・マルセンスポーツ・文化振興財団

協賛 JA真備西支店／JA真備東支店／倉備信用金庫／中国銀行真備支店／山陽マルナカ真備店／ダイヤ真備店／天満屋ハピース真備店／ニシナ真備店／緑野園／川辺内科／呉林診療所／徳木歯科医院／まきき病院／松田クリニック耳鼻咽喉科／まび記念病院／真備眼科診療所／ミナモト医院／オカジュウ中央クリニック／ナカノ／中本屋工務店／八王子工業／日の丸タナシー真備本社／ホリタチ山田建設／吉田建設／六和工業／倉敷県民ライオンズクラブ／真備船種商工会 (略不同)

